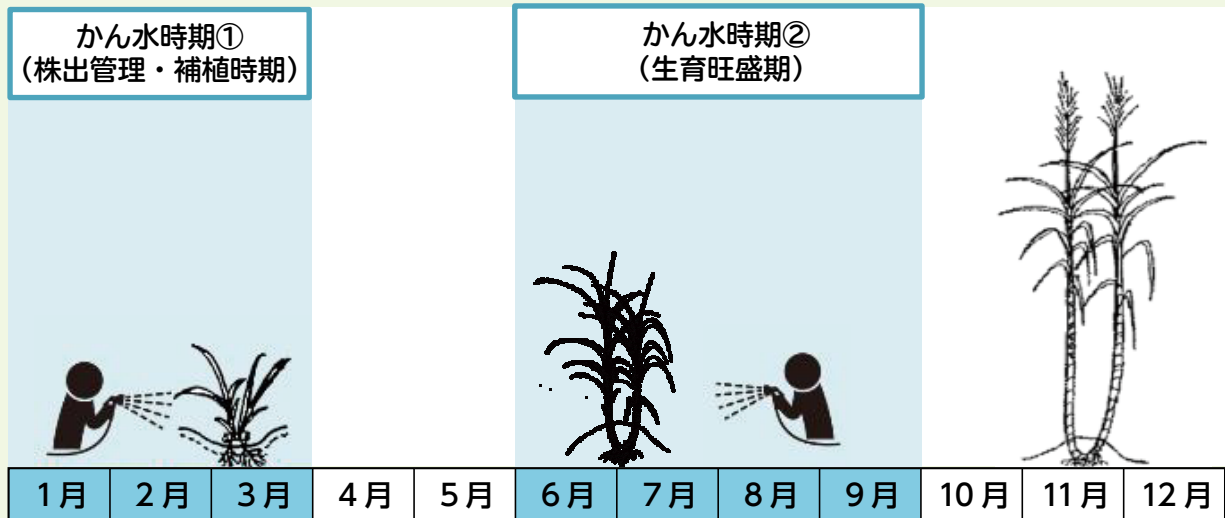
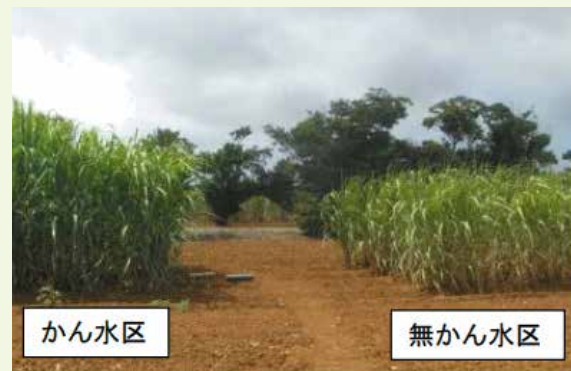
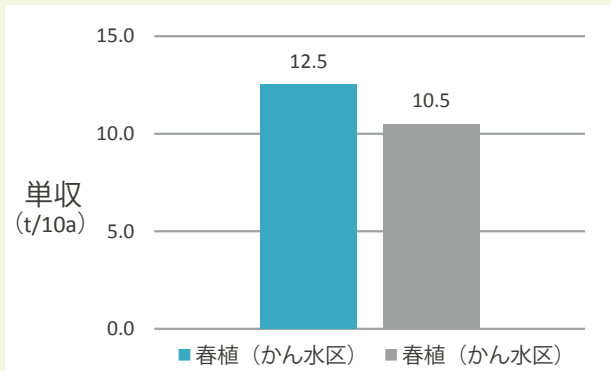


さとうきび増収のために適期かん水を実施しましょう

水分が不足すると生育が停滞し、収量に影響を及ぼします。
特に、株出し管理・補植時期と生育旺盛期には十分にかん水を行いましょ。



かん水区と無かん水区の比較



※農業研究センター本所 さとうきび気象感応試験より
梅雨明け後から、生育旺盛期間中かん水実施
2月調査報告 見込収量平均 (2023-2025) 品種: NiF8

※農業研究センター宮古島支所試験より
2015年7月6日株出 品種: NiF8
梅雨明けから約3週間後

梅雨明け後に降水量が減少すると、葉のロール減少が発生していない時期にも茎生育の停滞が見られます。幹部の影響を受ける前にかん水する事が重要です。

重要 台風通過後に散水を実施することで、塩害被害の大幅な軽減が見込めます。

かん水補助事業について *詳細は広報くめじま5月号を確認ください。

費用6,600円のうち農家負担額1,320円 (80%補助) *散水車1台/8t

- 灌水の流れ
- ①【申込】 久米島実業者運送へ申し込む (☎985-7900) ※場所・日時・台数
 - ②【実施】 久米島実業者運送が灌水作業実施。※農家さんは、立ち合いしてください。
 - ③【精算】 農家負担額 (1,320円/1台) ※収穫したさとうきびの代金から差引き精算。

お問い合わせ 産業振興課 ☎985-7134